

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2005-167818 (P2005-167818A)

【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2003-406088 (P2003-406088)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 4 0 Z

G 0 6 F 12/00 5 4 5 Z

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 10 日 (2006.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツデータと当該コンテンツデータの属性を示す属性データとが記録可能な記録手段と、

再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択手段と、

前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理するための管理情報を取得する取得手段と、

前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記属性データに基づいて、当該コンテンツデータの再生、当該コンテンツデータに関連する関連情報の提供または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報の提供の少なくとも一方を行う再生・提供手段と、

を備えることを特徴とする情報提供装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の情報提供装置において、

前記再生・提供手段が、

前記記録手段に記録される属性データに基づいて前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無を判断する判断手段と、

前記判断手段によって前記コンテンツデータが前記記録手段に記録されていると判断された場合に、前記管理情報に基づいて、前記コンテンツデータを再生させる制御手段と、

を更に備えたことを特徴とする情報提供装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の情報提供装置において、

前記再生・提供手段が、

前記記録手段に記録される属性データに基づいて前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無を判断する判断手段を更に備え、

前記判断手段によって前記コンテンツデータが前記記録手段に記録されていると判断された場合に、当該コンテンツデータとともに当該コンテンツデータにおける関連情報を提供することを特徴とする情報提供装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の情報提供装置において、

前記再生・提供手段が、

前記記録手段に記録される属性データに基づいて前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無を判断する判断手段と、

前記判断手段によって前記コンテンツデータが前記記録手段に記録されていると判断された場合に、前記選択されたコンテンツデータの編集履歴を提示する提示手段と、

前記提示された編集履歴に示された編集項目を復元する復元手段と、

復元された編集項目に基づいて前記取得した管理情報を更新し、当該管理情報に基づくコンテンツデータの再生または当該コンテンツデータの他の情報提供装置に提供する情報提供手段と、

を更に備えることを特徴とする情報提供装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の情報提供装置において、

前記記録手段に記録される前記属性データは、

前記コンテンツデータを特定するために所定の情報を記述したデータであることを特徴とする情報提供装置。

【請求項 6】

コンテンツデータと、当該コンテンツデータの所定の情報を記述したメタデータの内、各ユーザが独自に使用するローカルメタデータと、当該ローカルメタデータ以外の公共メタデータとが各々記録可能な記録手段と、

再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択手段と、

前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理する前記公共メタデータの管理情報を取得する取得手段と、

前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記ローカルメタデータに基づいて、当該コンテンツデータの再生を行う再生手段と、

を備えることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の情報再生装置において、

前記記録情報に記録される前記ローカルメタデータは、

前記情報を編集して前記公共メタデータとの差異が生じた場合、その差異を補正する情報を有していることを特徴とする情報再生装置。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の情報再生装置において、

前記ローカルメタデータは、

前記情報を着脱可能な記録媒体に記録した場合、当該記録媒体を特定する情報を有していることを特徴とする情報再生装置。

【請求項 9】

コンテンツデータと当該コンテンツデータの属性を示す属性データとが記録可能な記録工程と、

再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択工程と、

前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理するための管理情報を取得する取得工程と、

前記記録工程におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記属性データに基づいて、当該コンテンツデータの再生、当該コンテンツデータに関連する関連情報の提供または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報の提供の少なくとも一方を行う再生・提供工程と、

を備えることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 10】

コンテンツデータを提供する情報提供用プログラムであって、

コンピュータを、

コンテンツデータと当該コンテンツデータの属性を示す属性データとが記録可能な記録手段、

再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択手段、

前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理するための管理情報を取得する取得手段、

前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記属性データに基づいて、当該コンテンツデータの再生、当該コンテンツデータに関連する関連情報の提供または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報の提供の少なくとも一方を行う再生・提供手段、

として機能させることを特徴とする情報提供用プログラム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の情報提供用プログラムが前記コンピュータに読取可能に記録されていることを特徴とする情報記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報提供装置、情報再生装置、情報提供方法および情報提供用プログラム並びに情報記録媒体

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、コンテンツデータの提供者が提供する当該コンテンツデータの再生および記録の少なくとも一方を管理するための管理データを用いることによって記録されているコンテンツデータを提供する情報提供装置、情報再生装置、情報提供方法および情報提供用プログラム並びに情報記録媒体の技術分野に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、上記事情を考慮してなされたもので、その目的の一例としては、コンテンツデータの内容、再生方法だけでなく、コンテンツデータに関連する関連情報または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報の少なくとも一方も併せて提供することのできる情報提供装置、情報提供方法、情報再生装置、情報提供用プログラムおよび情報記録媒体を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、コンテンツデータと当該コンテンツデータの属性を示す属性データとが記録可能な記録手段と、再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択手段と、前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理するための管理情報を取得する取得手段と、前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記属性データに基づいて、当該コンテンツデータの再生、当該コンテンツデータに関連する関連情報の提供または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報の提供の少なくとも一方を行う再生・提供手段と、を備える。

また、上記の課題を解決するため、請求項6に記載の発明は、コンテンツデータと、当該コンテンツデータの所定の情報を記述したメタデータの内、各ユーザが独自に使用するローカルメタデータと、当該ローカルメタデータ以外の公共メタデータとが各々記録可能な記録手段と、再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択手段と、記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理する前記公共メタデータの管理情報を取得する取得手段と、

前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記ローカルメタデータに基づいて、当該コンテンツデータの再生を行う再生手段と、を備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、上記の課題を解決するため、請求項9に記載の発明は、コンテンツデータと当該コンテンツデータの属性を示す属性データとが記録可能な記録工程と、再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択工程と、前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理するための管理情報を取得する取得工程と、前記記録工程におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記属性データに基づいて、当該コンテンツデータの再生、当該コンテンツデータに関連する関連情報の提供または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報の提供の少なくとも一方を行う再生・提供工程と、を備える。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、上記の課題を解決するため、請求項10に記載の発明は、コンテンツデータを提供する情報提供用プログラムであって、コンピュータを、コンテンツデータと当該コンテンツデータの属性を示す属性データとが記録可能な記録手段、再生または情報の提供の少なくとも何れか一方を行うべきコンテンツデータを選択するための選択手段、前記選択されたコンテンツデータにおける当該コンテンツデータの再生・記録を管理するための管理情報を取得する取得手段、前記記録手段におけるコンテンツデータの記録の有無、前記管理情報および前記属性データに基づいて、当該コンテンツデータの再生、当該コンテンツデータに関連する関連情報の提供または当該コンテンツデータの編集履歴を示す履歴情報

の提供の少なくとも一方を行う再生・提供手段、として機能させることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

本実施形態の放送受信録画装置 4 は、図 3 に示すように、チューナ 31 と、復調器 32 と、デコーダ 33 と、ハードディスク (HD) 36 を有するハードディスクドライブ (HDD) 35 を制御してデータの記録または読み出しを制御するハードディスクドライブ (HDD) コントローラ 34 と、着脱可能な記録媒体の一例である光ディスク 39 を格納する光ディスクドライブ 38 を制御してデータの記録または読み出しを制御する光ディスクコントローラ 37 と、コンポーザ 40 と、ミキサ 41 と、グラフィックコントローラ 43 と、を有し、これらの各部はバス 42 に接続されている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0130

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0130】

このローカル情報 59 には、ユーザが番組を記録媒体としての光ディスク 39 に記録した場合には、その光ディスク 39 を特定するために光ディスクにつけたタイトル名情報と、<DeletePosition> タグを用いてユーザがハードディスク 36 上に記録した番組にコマンドの削除などの編集を加えることによって、サーバ 3 上のメタデータとの差異が生じた場合にその差異を補正する情報とを記述する。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0226

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0226】

なお、上記実施形態において、録画を光ディスクに行った場合、ローカル情報 59 をハードディスク 36 ではなく録画を行った光ディスク 39 自体に記録し、光ディスク 39 を挿入するだけで、そこに録画された番組のローカル情報 59 を得られるようにしてもよい。そして、上記実施形態では、着脱可能な記録媒体としての光ディスク 39 を適用した場合について説明したが、これ以外に半導体メモリ、磁気メモリなどの記録媒体でも適用可能である。